

始良市まちづくり 50 人委員会 実施報告書

始良市 企画部

目次

始良市まちづくり 50 人委員会の概要	2
実施の目的	2
実施の方法	2
開催の経過	3
委員名簿	4
始良市第 2 次総合計画の策定体制	5
始良市まちづくり 50 人委員会における意見・提案	6
住むなら“あいら”分科会	6
子育てなら“あいら”分科会	8
働くなら“あいら”分科会	10
訪れるなら“あいら”分科会	11
資料	
始良市まちづくり 50 人委員会における意見・提案の詳細	14
住むなら“あいら”分科会	14
子育てなら“あいら”分科会	18
働くなら“あいら”分科会	23
訪れるなら“あいら”分科会	27
始良市まちづくり 50 人委員会要綱	31

始良市まちづくり 50 人委員会の概要

実施の目的

始良市まちづくり 50 人委員会は、市政に対する意見等、市民の声を総合計画の策定に反映させることを目的として設置されている。

実施の方法

全委員を 4 つの分科会に分け、分科会ごとに設定されたテーマに沿って「始良市の良いところをもっと良くするためにはどうしたら良いか」「始良市に足りないところ、不便に感じることをよくするためにはどうしたら良いか」についてグループ討議を行った後に、各分科会の発表を経て、提案に対する共感度を全体で確認する。

※分科会一覧

分科会名称	主要なテーマ
住むなら“あいら”分科会	健康づくり、移住定住の促進、地域の活性化、防犯・防災について など
子育てなら“あいら”分科会	結婚・妊娠・出産への支援などの少子化対策、子育て環境の整備、教育環境の整備 など
働くなら“あいら”分科会	農林水産業や商工業の振興、あいらブランドの確立、就業への支援 など
訪れるなら“あいら”分科会	魅力を活かした観光、交通基盤の整備、スポーツ合宿の誘致、まちづくり など

開催の経過

	開催日時・場所	実施内容
第1回	<p>日時： 平成29年9月2日(土) 午前10時15分～12時</p> <p>場所： タウンホール (イオンタウン始良)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市長挨拶 ・まちづくり50人委員会とその進め方について説明 ・分科会長の選任 ・グループワーク 「始良市の良いところ」「始良市に足りないところ」について意見を出し合う
第2回	<p>日時： 平成29年9月30日(土) 午前10時15分～12時</p> <p>場所： タウンホール (イオンタウン始良)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいらまちづくりカフェでの意見の確認 ・グループワーク 「良いところをもっと良くするためには」「足りないところを無くすためには」どうすればよいか、その方策について意見を出し合う
第3回	<p>日時： 平成29年10月28日(土) 午前10時15分～12時</p> <p>場所： タウンホール (イオンタウン始良)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会の枠を超えた意見聴取 所属以外の分科会へ意見や方策を提案 ・グループワーク 発表にむけての意見の取りまとめ
第4回	<p>日時： 平成29年11月18日(土) 午前10時15分～12時</p> <p>場所： タウンホール (イオンタウン始良)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 発表に向けての意見の取りまとめ ・意見発表 ・共感できる方策への投票 各分科会より提案された方策に対し、共感できる方策に投票 ・講評

委員名簿

(順不同、敬称略)

住むなら“あいら”分科会 10名	瀬上 征一	油田 哲平
	田ノ上 淳也	◎ 野元 則博
	大西 さおり	石原 由紀子
	竹田 正利	藤谷 亜太可
	浜地 克徳	大迫 優子
子育てなら“あいら”分科会 11名	宮永 真秀	深水 誠也
	西 由紀子	新盛 鈴子
	藤浦 清香	◎ 伊藤 奈及美
	小田 美代子	柊原 美恵
	宇宿 アヤ子	古城 直子
	中園 寛子	
働くなら“あいら”分科会 10名	東條 明美	◎ 大山 幸雄
	田中 寛晃	折田 祐希
	伊尻 郁江	福元 寅典
	長谷川 きよみ	大西 茂
	江口 秀丸	川上 豊晴
訪れるなら“あいら”分科会 10名	◎ 吉満 智宏	高田 華世
	堀 朝子	寺原 桃子
	内園 由紀	森田 千佳子
	岩下 京子	隈元 よね子
	中野 まなみ	小山田 辰夫
	伊地知 豊子	

※◎印は分科会長を示す

始良市第2次総合計画の策定体制

市民参画

始良市まちづくり50人委員会

市民又は市内で就労している人43人（公募や団体・市内企業から推薦を頂いた方）により構成され、市の魅力や改善点について意見や提案を行う。

【平成29年9月～
11月まで計4回実施】

あいらまちづくりカフェ

市民参画の手法として「ワールドカフェ」という方法を参考にして、市の将来像に対する意見や提案を頂く。

【平成29年9月 計2回実施】

市民満足度調査

無作為に抽出した市民3,000人を対象に、市の施策に対する満足度や今後の重要度などについてアンケート調査を実施

【平成29年8月 実施】

始良市総合計画審議会

市長の諮問に応じ、総合計画に関する事項について調査審議し、その結果を答申する。

市議会議員、公共・公益団体の代表者、学識経験者、市民代表などから30名以内で組織

【平成30年5月頃設置予定】

諮問

答申

市長

始良市総合計画策定委員会

総合計画の策定に際し、全庁的な体制を構築するための庁内組織

事務局：企画部 企画政策課

議案
提案

議決

始良市議会

意見・提案の集約

始良市まちづくり 50 人委員会における意見・提案

住むなら “あいら”分科会

主要テーマ：健康づくり、移住・定住の促進、地域の活性化、防災・防犯 など

・取りまとめの概要

始良市の足りないところを課題として捉え、類似性からグルーピングをした結果、「生活環境・住環境」「交通」「施設」「地域」の4つの分野に区分することが出来た。区分された分野ごとの課題に対して、始良市の良いところを伸ばしつつ、足りないところを解消するための方策について提案した。

・提案された方策

①生活環境・住環境の分野

課 題	提案された方策	共感度
ゴミ分別問題	回収日を増やして、分別（出し方）の簡素化	
街灯の不足	街灯の設置	●●●
空家、廃屋の問題	市が行っている「空き家バンク」を各地区でできるような仕組みを取り入れる	

②交通の分野

課 題	提案された方策	共感度
公共交通、地域交通に関する課題	フリー切符の配布（タクシーとの共通利用券）	●●
	J R の時刻と合わせた運行	●●
	コミュニティバスと観光をセットにした運行の実現	●●●●●●●●

住むなら “あいら”分科会

- ・提案された方策

③施設の分野

課 題	提案された方策	共感度
公共施設に関する課題	施設の時間、料金の一覧表（料金の統一化）	
高等教育（大学）に関する課題	大学（県立、芸術等）を高校の空室などを利用して作る	
物産館に関する課題	物産館（道の駅）の早期設置	●●●
高齢化対策に関する課題	バリアフリー化の整備	●

④地域の分野

課 題	提案された方策	共感度
自治会、地域コミュニティに関する課題	自治会加入者に特権を作る（ゴミ袋の配布、商工会と連携した割引券の配布、公共施設の割引など）	●●
	交流を深めるためのイベント等の開催	

※この表における「共感度」とは、各分科会が提案した方策に対し、共感できると思う方策に対し、全委員の投票により求めた当委員会独自の指標であり、課題を含めた関心度の高さを測定した。

- ・住むなら “あいら” 分科会が提案した方策において、最も多くの共感を得た方策

『コミュニティバスと観光をセットにした運行の実現』

※その他の意見については、資料「各分科会の意見の詳細」に掲載（P14～17）

子育てなら “あいら”分科会

主要テーマ：結婚・妊娠・出産への支援などの少子化対策、子育て環境の整備、
教育環境の整備 など

・取りまとめの概要

子育てがしやすい「まち」として、サブテーマを『みんなが元気で楽しく、笑い声がひびくまち』とし、現状から把握した課題を「人（人と人との関わり）」
「施設（サポート）」「自然（共生と調和）」「その他（文化）」の4つの分野に区分して、課題の解決策となりうる方策を提案した。

・提案された方策

①人【人と人との関わり】の分野

現状と課題	提案された方策	共感度
地域によって差があるが、コミュニティがしっかりしている。そのため、地域外から入ってこられる方々がコミュニティに入りやすく馴染みにくい。	子供が活動する場の創出（高齢者との交流も含め、子ども主体で企画）	●
	元気な高齢者と子育て世代のつながる場の創出（顔が見えるつきあい）	●●●●●

②施設【サポート】の分野

現状と課題	提案された方策	共感度
病児保育、夜間保育がない（病児保育は1ヶ所有）	病児、夜間保育の整備（自治公民館の利用、移動託児所（ファミサポのような）、ベビーシッター、家事代行等）	●●●●●
子育て世代をサポートする制度等は整っているが、利用者側に届いていない	PRの活用（SNS等）	●
健診の時間が午後（子供のお昼寝の時間）	情報共有を図る	
専門学校、大学がない	専門学校、大学があったらいいな	●●

子育てなら “あいら”分科会

・提案された方策

③自然【共生と調和】の分野

現状と課題	提案された方策	共感度
自然は豊かだが、手付かずの場所が多く、危険も隣り合わせ	山、川、池、滝を活かし、自然を体験できる環境を整備する（奥入瀬川流域の自然公園のような観光スポットを整備）	●

④その他【文化】の分野

現状と課題	提案された方策	共感度
室内遊戯施設、屋内公園（屋根付公園）、プールがない	室内遊戯施設、屋内公園（屋根付公園）、プール等を作る	●●
文化、歴史、教育などに積極的に取り組む人がいて、それぞれに輝いているが、表に出てこない	子供たちが興味を持てるような話（体験）を聞く機会をたくさん作る	

※この表における「共感度」とは、各分科会が提案した方策に対し、共感できると思う方策に対し、全委員の投票により求めた当委員会独自の指標であり、課題を含めた関心度の高さを測定した。

・子育てなら “あいら” 分科会が提案した方策において、最も多くの共感を得た方策

『元気な高齢者と子育て世代のつながる場の創出（顔が見えるつきあい）』

※その他の意見については、資料「各分科会の意見の詳細」に掲載（P18～22）

働くなら“あいら”分科会

主要テーマ：農林水産業や商工業の振興、あいらブランドの確立、就業への支援など

・取りまとめの概要

第3回の委員会までに出された意見（始良市の長所と短所）を取りまとめた結果、「農林漁業の振興」「商工業の振興」「就業、雇用及び企業振興」の3つの分野に区分できたことから、それぞれの分野の振興に資する方策を提案した。

・提案された方策

①農林漁業の振興の分野

提案された方策	共感度
あいらの有機農業をもっと発展させるため、始良市民、市外向けのPRを行い、ブランド化を図り、6次産業化へと発展させる。そのため、新規就農者への支援の強化、農家への農地の集積を進める。	●
海とそれぞれの漁港のロケーションを活かし、働きたい人も遊びたい人も呼び込むインフラ整備を整え諸般の講習会、シーフードレストラン、魚を好きになってもらえる企画をする。	●
「農業のグループ化」や「地域で担う農業」を推進するため、高齢者の採用、農業大学との連携を図り、農業の活性化を図る。	●●
山林荒廃や放置竹林対策として木材、竹材の流通の仕組み（運搬など）の構築や「竹林整備講習会」などを開催する。	●

働くなら “あいら”分科会

- ・提案された方策

②商工業の振興の分野

提案された方策	共感度
企業の誘致（65歳以上でも働ける）を図るため、AI、IT関連企業の誘致を図るとともに、企業育成のため専門的な学校の誘致や大学とのコラボを行う。	●●●
個人商店の活性化や大型ショッピングセンターに頼らない商店街づくりのため、個人商店の活性化（起業を含め）のための事業展開や「リーダー育成」を図る。	●●●●● ●●●●●
地元に着した企業や個人事業主への優遇措置を実施（拡充）する。特に中小企業の後継者対策は急務であることから、オリジナリティ（自分の企業の良さ）を活かすなど、重点的な取り組みを助長する。	

③就業・雇用及び企業の振興の分野

提案された方策	共感度
有機野菜をイメージアップするためにNewキャラクターを作る 参考 卓球の「福原愛」ちゃんの子も“あいらちゃん” “あいらちゃん”人気にあやかり、キャラクターを公募する。	●
既存施設のスペースを利用し、イベントや研修に活用してもらおう。民間と提携をし、施設を再利用する。（サンピアの2F、働く女性の家、福祉センター、黒ネコの施設など）	
始良出身の著名人などを発掘（再掘）し、伝統工芸館や資料館を集約し、展示したり、アピールする。郷土のこと、故郷のことに詳しい高齢者等の活躍の場とする。（ボランティアガイド、就労）	●●

※この表における「共感度」とは、各分科会が提案した方策に対し、共感できると思う方策に対し、全委員の投票により求めた当委員会独自の指標であり、課題を含めた関心度の高さを測定した。

- ・働くなら “あいら” 分科会が提案した方策において、最も多くの共感を得た方策

『個人商店の活性化や大型ショッピングセンターに頼らない商店街づくりのため、個人商店の活性化（起業を含め）のための事業展開や「リーダー育成」を図る。』

※その他の意見については、資料「各分科会の意見の詳細」に掲載（P23～26）

訪れるなら “あいら”分科会

主要テーマ：魅力を活かした観光、交通基盤の整備、スポーツ合宿の誘致、まちづくり など

・取りまとめの概要

第3回の委員会までに出された観光分野等に関する始良市の良いところ（利点）、もう少しがんばってほしい所（課題）から、始良市を訪れてもらうための方策として「PR力」「もてなし」「施設」「国際交流」の4つの柱にまとめた。

・提案された方策

①PR力の分野

課題	利点	提案された方策	共感度
PR不足 (横のつながり)	交通の利便性（インターチェンジ、空港が近い）	利点を十分に活かしてきれていない原因の一つとして、PR不足、PR力の不足があると思われるため、市のホームページをはじめとして、SNS、インスタグラムを活用し、情報の拡散を図る。	●●
	史跡が豊富（市としての財産が豊富）	史跡が豊富という利点を十分に活かすため、看板を統一し、簡素化され、分かりやすい看板にする。	●

②もてなしの分野

課題	利点	提案された方策	共感度
駅からの交通が不便	古民家カフェの存在	駅と史跡等を結ぶ交通手段として「レンタルサイクル」を導入する。また、既存の共通ICカードを導入して利便性の向上を図る。	
		古民家カフェなど古民家を活用した店舗や海、田畑を利用した始良市の体験コースの提案。子供から大人まで多世代が参加できるコース。	●●

訪れるなら “あいら”分科会

・提案された方策

③施設の分野

課 題	利 点	提案された方策	共感度
娯楽施設（ホテル、旅館、遊戯等の総合施設）の不足による若者の流出		誰でも出来る、子供から大人まで幅広い年齢層が利用できる施設（ボウリング、カラオケ）の充実	●●●●●● ●●●●
		宿泊施設の不足に対しては空家での民泊を活用する。	●

④国際交流の分野

現 状	課 題	提案された方策	共感度
技術研修等による外国人居住者の増加	地域の受け入れ体制	言葉の問題については通訳の公募を行い、コミュニケーションを円滑にする。	
		多国籍の「文化」や「食」を体験できるイベントを実施し、交流を図る。	

※この表における「共感度」とは、各分科会が提案した方策に対し、共感できると思う方策に対し、全委員の投票により求めた当委員会独自の指標であり、課題を含めた関心度の高さを測定した。

・訪れるなら “あいら” 分科会が提案した方策において、最も多くの共感を得た方策

『誰でも出来る、子供から大人まで幅広い年齢層が利用できる施設

（ボウリング、カラオケ）の充実』

※その他の意見については、資料「各分科会の意見の詳細」に掲載（P27～30）

始良市まちづくり 50 人委員会における意見・提案の詳細

住むなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところ、もっと頑張ってもらいたいところ」

始良市のいいところ 『現状と利点』	始良市にもっと頑張ってもらいたいところ 『現状と課題』
<p>【生活環境】</p> <p>☆人口増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が増加している ・若い人が増え、まちが元気に見える ・若い子育て世代が増えている <p>☆施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人施設が多い ・各所に大きな公園がある ・スーパー、病院が充実している ・大型ショッピングモールができて便利 ・買い物できる店が集っている <p>☆地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動が活発、積極的 ・自治会がしっかりしている、個別に助けてくれる ・コミュニティ協議会が発足し、地域のことに取り組んできた ・コミュニティがしっかりしている <p>☆人柄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っている人を助けてくれる（外国人でも） ・年配の方がお元気 ・素朴な人柄など田舎ならではのところが残っている ・近所と仲良し ・人が温かい ・人が親切 ・移住者を受け入れる雰囲気 ・近所の助け合い、気軽に声を掛けてくれる <p>☆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちがコンパクト（役所、銀行、郵便局に歩いて回れる） ・ほどよく田舎 ・まち全体の落ち着いた雰囲気 ・朝日と夕日がすばらしい 	<p>【高齢化・住環境】</p> <p>☆高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が自分の意思で外出するのが難しい ・高齢者に最近力を入れていない（子育てに力を入れている） ・高齢者が多く地域の役員になる回数が多い ・上場地域の高齢化 <p>☆住環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜島が見えるように高層建築物、看板の規制条例が必要 ・生活排水路の不備（住宅はほとんどできるが、用水路は昔のままなので、最近の雨量でさえ道路にあふれる） ・山間地域のネット回線、携帯電波、あいらびゅーFM電波 ・外灯が少ない（暗くなると道が見えない） ・夜、暗い（街灯が少ない） <p>☆地域格差</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街中は人も増え、ショッピングも便利。若い子育て世代も増え活性化しているが、街からはずれた田舎の活性化はかなり厳しい ・過疎、過密により町の機能が一ヶ所（中心）にまとまりつつあるように感じる ・中心部と周辺部の差 <p>☆空き家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が放置（処分しやすくしてほしい） ・空家対策 ・廃屋が増えている ・空き家があっても借りてもらえない（移住者は戸建てを望む傾向がある） <p>☆ゴミ、廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別が厳しい ・資源ごみの回収の回数が少ない

住むなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところ、もっと頑張ってもらいたいところ」

始良市のいいところ	始良市にもっと頑張ってもらいたいところ
<p>【交通】</p> <p>☆移動・アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにでも行きやすい ・県央なので、どこにでも行きやすい ・県央のまちとして、県内のどこに行くにも（どこから来るのも）大変便利 ・交通アクセスが良好 ・生活利便性（アクセス、空港、高速） ・交通の利便性が良い（鹿児島から近い、空港が近い、高速道路がある） ・空港が近い、鹿児島市内への交通便利 ・県央に位置し、便利な町である ・県央で通勤範囲が広い ・JRの駅がたくさんある ・高速道路に乗りやすい ・10号線上で移動できてラク ・始良インターから全国に行ける <p>☆施設、設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路がしっかりしている ・蒲生～山田～空港道路の整備がされ、空港へのアクセスが便利になった ・生活に必要なインフラは充分 ・主要道が分かりやすい 	<p>【施設・交通】</p> <p>☆施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利活用 ・大学がほしい ・プールがない ・避難所になりそうな建物が少ない ・森のある公園があるといい ・高齢者対応の公園 ・小さな公園の整備、建昌城整備 <p>☆公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの便数が少ない ・交通手段が少ない ・バス代が高い ・交通手段としてJR、バスの不備（免許返納後の交通手段がない） ・日豊本線の電車が少ない ・車がないと移動手段がない、生活できない（バスが少ない） ・バスの乗客が少ない <p>☆交通基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道10号線の通年的渋滞 ・道路が狭い、歩道がない ・10号線のインフラ整備（湾岸線沿いに道路を作る） ・山奥まで道路は整備されているが、道路脇の草払いは追いつかず、道が埋もれそう ・行き止まり表示の不備 ・田舎の道路が粗悪 <p>☆交通弱者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物などの移動手段の充実（高齢者、障がい者） ・高齢者配布のはり、灸券をバス無料券に変えてほしい <p>☆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅に利用できる駐車場が少ない
<p>【自然】</p> <p>☆自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海がある、山がある、川がある、自然が豊富 ・滝（布引の滝、龍門の滝） ・自然がいっぱい ・海と山がある ・道路（交通）からすぐに自然に触れられる ・多様な自然（海、川、山、里山、滝） ・自然が豊か（山、海、川、水、空気） <p>☆景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜島がどこからでもきれいに見える ・田舎の風情 <p>☆施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな公園がある（県民の森、高岡公園、さえずりの森） ・温泉が何箇所もある ・温泉がある ・スターランド始良 <p>☆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作りの秋祭り ・芸術家が多い 	

住むなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところ、もっと頑張ってもらいたいところ」

始良市のいいところ	始良市にもっと頑張ってもらいたいところ
<p>【農林商工】</p> <p>☆全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機野菜、新鮮な魚等が手に入りやすい、おいしい ・田舎に付加価値をつけて飲食店（カフェ）が繁盛している（空家利用） ・古民家風カフェと新感覚風のレストラン ・資源が豊富（海があり、山がある） 	<p>【行政、その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の借金を少なくする ・「始良」というイメージ（ブランディング）がない ・行政と地域に考えの違いがある（上手く伝わらない点がある） ・ふれあいいいきサロンなど自助を進めるが、公助が足りていない ・市、社会福祉協議会等の連携をとる ・義足の友人から入浴券よりもマッサージ券のほうが使いやすいと聞いている ・中央から離れた地域に目を向けたサービスを展開してほしい
<p>【その他】</p> <p>☆立地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛行場が近い ・空港への利便性 ・鹿児島市⇄始良市⇄空港 利便が良い <p>☆自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑豊か、水がきれい ・四季（季節感）を感じる風景、行事等が残っている ・山は涼しい（温暖化でこれから価値が上がる） ・里山、海、川の美しさ ・空気がきれい、四季の色、香りが有る（滝、川、海の色、香も味わえる） ・自然豊か ・自然がいっぱい ・大自然がいっぱいある <p>☆地勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地が安く、一軒家を建てやすい ・平坦地 ・地価がまだ安い ・灰があまり降らない ・災害が少ない <p>☆教育、子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校が4校ある ・保育園が多い <p>☆歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧3町それぞれ個性のあるまちである <p>☆施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡公園の桜と運動場 ・病院、介護事業所が多い <p>☆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流が盛んである 	<p>【地域】</p> <p>☆自治会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会未加入者への対応のおくれ ・自治会での交流がない（祭り、運動会など） ・人が少ない地域は役員をする人もいないのが現状 <p>☆地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のことにもっと興味（関心）を持ってほしい ・地域間の交流、つながりが少ない ・人が少ない地域は地域行事が多く忙しい ・校区コミュニティに力をつけてほしい（校区の力量に差がある） <p>☆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間のつながりが少ない ・旧町同士でいがみあわない ・過疎化によって生活の不便さが出てきている ・3地区の夏祭りが行われている（連携をとる） ・人のつながり、小さなコミュニティが壊れている

住むなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところをもっと良くするためには、もっと頑張ってもらいたいところを改善するためにはどうしたらよいか」

分野	方策
交通の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通の検討 ・バス停のベンチを整備 ・JRと連動したバスの運行 ・バイパスは車通りが多いので、子供の通学用の陸橋をつくる ・自転車が安全に運転できる道路の整備 ・バス路線とバス停の整備（路線バス、空港バス、コミュニティバスの情報一元化） ・PRの場としてインター出入り口看板の整備 ・電車、バスの運行回数を増やす ・町並みの変遷に合わせた道路の整備を
自然（里山）の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・里山での民泊を行う ・住吉池の利用推進、緩和 ・特認校で馬を飼い、史跡めぐりを行う ・自然がたくさんある始良市なので、PRを増す
雑草放置対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤギのレンタルがあれば良い（他県での事例がある） ・個人所有の土地の藪は市の指導とシルバー人材センター等を使って伐採する
ゴミ搬出の簡素化	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋を自由にする ・資源ごみも可燃ゴミと同様に出せるようにする
自治会未加入者対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会未加入者が加入（参加）しやすくする ・自治会加入に対するメリットを付与する（地域バーベキューを開く、会に出るとお金がもらえる、飲み会をする、ゴミ袋代を半額にする） ・自治会の価値を考える（高齢者、子供たちとのふれあい）
高齢者、障がい者が暮らしやすいために	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者への入浴券、はり・きゅう券の見直しを（未利用者の存在） ・元気な高齢者の社会参加 ・高齢者福祉センターのように、障がい者福祉センターをつくる
地域の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立自興」「自助共助」の精神を根付かせる手法としてモデル地区を作る
施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・市営プールのために学校のプールを開放する ・始良の物産（特産品）を市民みんなでPRするために物産館を作る ・鹿児島駅前のように駅前広場、コンビニ、「せんべろ」をつくる ・芸術大学を作る
移住・定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者向けに「田舎の暮らし方」のようなパンフ or サイトのコーナーを作る（笑い話のようなものを集めて常識の違いを伝えられる）
公共財産の利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルできる備品リストの公開、共有（公的な資金で購入したのに、使われる頻度が少ないものなどを共有したい）

子育てなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところ、もっと頑張ってもらいたいところ」

始良市のいいところ 『現状と利点』	始良市にもっと頑張ってもらいたいところ 『現状と課題』
<p>【施設面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園が多い ・ 子育てがしやすい（働いていなければ） ・ 高校が4校ある ・ 特別支援の学童「すくすく」 ・ 第3の学びの場を認めている ・ 図書館が充実（映画会、講演等良し） ・ 移動図書館がある 	<p>【施設面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の待機があり、仕事をするために無認可に預けざるを得なかった ・ 子育て支援が県内で一番遅れている（内容を確認して、せめて県内の他の市町村と肩を並べる福祉を） ・ 健診が旧始良にて行われ、行き来が大変（旧加治木、旧蒲生でやってほしい） ・ 保育園が少ない（女性に働けといいながら、待機児童が有。夜間、病中保育の充実を望む） ・ 子育て広場（時間などもう少し充実を） ・ 障害児童等、公立保育所で受け入れる気がない ・ 保育園は不足しています（霧島市、鹿児島市に預ける方がいます） ・ 保育園、幼稚園の財政面が園児に飛び火し、施設面や保育面に支障をきたしている ・ 保育園の設立について（意欲がある人が設立したいと希望を役所に出しても、保育園の設立に大きな支障がある） ・ 学校にエアコンを設置していない（校舎は古くても、年々暑さは増している。子供は成長しているので、早く改善を） ・ 屋内公園（屋根付き）がほしい ・ プールがない
<p>【人柄面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人が親切 ・ 若い子育て世代が増えている ・ 元気な高齢者が多い ・ 小学生があいさつする ・ 子育てに意識が高い人が多い ・ 近所の助け合い（気軽に声を掛けてくれる） ・ コミュニティがしっかりしている 	<p>【人的な面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティがしっかりしているが故に仲が良すぎて部外者が入りづらい ・ 世代間のつながりが少ない ・ 育児への男性参加 ・ 文化、歴史、教育などに積極的に取り組む人がいて、それぞれ輝いている

子育てなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところ、もっと頑張ってもらいたいところ」

始良市のいいところ 『現状と利点』	始良市にもっと頑張ってもらいたいところ 『現状と課題』
<p>【自然面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かで静か ・農業に触れやすい ・クリーンアップ作戦は続けて（海や川、自然を大切に にする子供、まちが育つ） ・冒険遊び場（かむおん）がある ・食が豊富、安心、安全 	<p>【自然面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を活用して遊べる環境が整備されたら嬉しい （神川大滝公園のように遊べたら・・・）
<p>【文化面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を大切にして学んでいる ・歴史的文化財 ・文化の花が咲いている ・国際交流が盛んである ・音楽活動が盛ん 	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の映画フィルムが劣化している ・祭りとか妊産婦さん用の駐車場がない ・音楽、コンサート、ダンスなど文化面の向上を高めてほしい ・図書館の土曜日の幼児向け映画が昼寝の時間（子供に合わせた時間帯に） ・英語に触れる機会を増やしてほしい

子育てなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところをもっと良くするためには、もっと頑張ってもらいたいところを改善するためにはどうしたらよいか」

分野	方策
「人」	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンへの参加者を増やす（声掛け） ・近所の時間が空いている人に見守りをしてもらう ・子育ての悩みを持つ親が相談しやすい様に相談ルートの広報（どこに相談したら良いか分からないという声がある） ・里帰り出産の人にもPR ・母子保健推進員の活動を活発にして妊婦から子育てまでの充実を図る ・子育て世帯が集れるセミナー等、もっと知り合える場を増やしてほしい ・老人と子供との交流、接触をする場を作してほしい（年代格差がありすぎる） ・制度等は整っているが、まず、どこへ行ってよいのかわからない ・相談員の方の顔が見えたら行きやすい ・自発的、自主的な活動へのバックアップ（手続きの簡素化、開かれた学校、施設） ・元気な高齢者と若い子育て世代との交流を設ける ・元気な高齢者と子育て世代とのつながる場（顔の見える付き合い） ・保育師さんの配置（人事異動）に保護者の声を反映させられないか（短期的な異動より、長く同じ園にいていただけたら） ・子育てサークルや高齢者サークルなどのコミュニティをつなぐコミュニティがあれば ・開かれた学校（地域の方が先生になる）
「自然」	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区、部落で清掃する（各自治会で日時を決める） ・適度な整備（人工的に整えすぎないで、自然を残す） ・自然保護条例等の周知 ・自然公園やハイキングコース等を活用する方法を ・豊かな自然を残すため、クリーン作戦などしていく ・草払いサービス（機械レンタル、イベントを兼ねる） ・自転車の活用（鹿児島市内の乗り捨てできるシステム） ・駐車場の整備（空き地の活用） ・都会のまねではなく、始良らしい視点を大切に（何に重きを置くか） ・錦江湾にレジャーランドがほしい ・山や川、池を使った娯楽施設を作り、市民が日常的に使えて、楽しめるようにしてほしい ・手を入れた自然に、しっかり管理（手入れ）をしてほしい ・キャンプ場を再整備して利用しやすくする ・就労移行、就労継続支援事業A型、同B型を利用した環境整備、人材活用

子育てなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところをもっと良くするためには、もっと頑張ってもらいたいところを改善するためにはどうしたらよいか」

分野	方 策
「施設」	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに特化しない ・「誰でも利用できる」ことにすると良いと思う ・施設の情報をもっと見やすく掲載してほしい（インターネット等） ・家事代行やベビーシッターの制度導入（シルバーさんでしているが家事代行は周知されていない） ・家事代行サービスのシステム ・健診の時間を午前にする（昼からだとお昼寝の時間に重なってぐずる） ・移動託児所（ファミリーサポートの延長） ・保育園、小学校、中学校、高校が毎日楽しいよのPR ・子どもを単に預けるサポートシステムがあると良い ・子育てサポートの体験システム ・助産院があると良い ・子育て支援など、顔が見えると利用しやすいと思う ・あいらきつず、かじきつずの充実（蒲生にも設置を） ・子どもと一緒に入れる、騒いでも良い広い飲食店 ・ファミリーサポートの活動内容が見える化する ・ITに触れる機会（先端教育）を増やす ・屋内遊戯施設（ボルタリング、アスレチックなど安全に体を動かせる場所） ・学校にクーラーを取り付ける ・施設への交通の便を良くする ・クーラーより風通しを良くしたり、樹木を増やすなど子どもに環境にも良い方法を ・子育て中の方が働きやすいように病児保育や夜間保育ができる施設があれば良い ・自治公民館等で夕方の2時間程度預かるしくみを ・あいあい子育て広場の活用を（土、日、祝日も利用できるように） ・高校はあるが、その先の大学等がない（県外への進学者が多いため、県立大学等の誘致を） ・新留小の活用（公共施設の利活用） ・最新の教育を受けられるようにする（PC、プログラミング等）
「バス」	<ul style="list-style-type: none"> ・住民向けや学生（子ども）向けのフリーバスを（有料でも安く） ・安くて便利にすることで活用され、利用者の増加につながる ・小型化（10人から20人乗り程度）して、便数を増やす ・バスはフリー乗降バスにすると良い

子育てなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところをもっと良くするためには、もっと頑張ってもらいたいところを改善するためにはどうしたらよいか」

分野	方策
「その他」	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の異文化交流に力を入れる ・外国語のサイン、パンフレット、音声ガイド、free-wifi等の充実 ・タトゥーの入っている外国人への温泉入浴の許可 ・小中学生の海外へのホームステイプログラムはあるが、家族ぐるみでの参加ができそうなイベントの計画をする ・鹿児島弁、標準語、英語のトリリンガルを目指す ・始良といたら〇〇とみんなが答えられるものがほしい ・市の借金を少なくする ・市の公有地を使用不可の分から処分して市政、市税に充てる ・図書館の民営化を検討している都市もあるが、現状の始良図書館は様々なプログラムに取り組んでいる。それを評価し、広報し、応援することでスタッフのやる気につなげて、効果をあげたらよい ・加治木、始良、蒲生で歴史的なディベートを（地元の人による地元観光で別な地域を訪れる） ・図書館利用の勉強会を ・蒲生のふるさと交流館のような手頃なイベント施設の設備、備品を充実させる ・貸し出し備品の一覧表を作る ・施設内用の充実を ・小、中学校で地元の歴史を知る時間を設ける ・あいら温泉の利活用 ・子育て世代が地元の歴史などを学べるイベント等の工夫（地元愛を育てる） ・PRの活性化（SNS、HP、あいらびゅーFMの活用） ・山間部にもネット環境があれば若い世代の移住が見込める ・オルタナティブスクールを始良市の売りの一つとして活用する（既に先進事例なので） ・各企業等の「子育てしやすい会社です」のPR ・コンサートや講演を聴けたり、住民が発表するのにふわさしいホールを作ってほしい（特に蒲生） ・起業家や小規模企業を重視すると暮らしやすさにつながるのでは

働くなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところ、もっと頑張ってもらいたいところ」

始良市のいいところ	始良市にもっと頑張ってもらいたいところ
<p>【農林水産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の安心、安全 ・有機農家が多い ・有機野菜が手軽に買える（無人販売も多い） ・田畑、有機農業が盛んで、生産活動ができる ・有機農業 ・オーガニックの野菜の入手がラク ・有機野菜が豊富で有名 ・地産地消が豊富である ・地元産の野菜が豊富、安い ・農林漁業がある ・スーパーでは野菜が売れて少なくなったとき、15時以降に産地の方が補充している（夕方の客に対応） 	<p>【農林水産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置竹林の活用を!!（循環できるシステムを作ってほしい、働く→作る→売る） ・休耕地の活用 ・高齢化で作れなくなった土地が荒れ果てている ・有機野菜はもっと外に向けてPRしてほしい <p>【就業・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学がほしい（特に芸術） ・大学がない ・高校がほしい ・地元学生のインターンシップを ・地元企業の良さのアピール不足 ・若い人の求める職業、企業を ・ホテル、旅館、企業、会社等の誘致を ・宿泊施設 ・（県中央を活かし）研修センター、合宿所の設置 ・65歳以上でも働ける企業がほしい ・企業が少ない
<p>【立地・交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県央に位置、物流の拠点 ・県央にある ・県央で通勤範囲が広い ・鹿児島市、霧島市が近くで便利である ・空港が近い ・鹿児島市内が近い ・県の中心に位置、交通網の拠点であり中間点でもある ・交通アクセスが良好 ・空港が近い ・交通の便が良い ・空港が近い 	<p>【創業・出店】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い（鹿児島市へのアクセスが良い） →始良市ではなく、鹿児島市に買い物に行く ・中心部は良くなる。中小企業、小店も良くなるように ・商店が始良町に集中している ・蒲生、加治木は高齢化もあり商店が少ない ・雇用の確保は各自（企業）任せ ・大型商業施設より個人商店の活性化を ・野生動物による被害に対策がたてられない（土地が広すぎて） ・新規就農者への支援をもっと強化 ・道の駅がほしい ・道の駅などで野菜等まだアピールしてほしい（他からお客さんを） ・県密着型の企業の優遇（企業の数や規模では都心にはかなわない） ・海外向けの産業の創業に力を入れてほしい

働くなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところ、もっと頑張ってもらいたいところ」

始良市のいいところ	始良市にもっと頑張ってもらいたいところ
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自営業の人が多く、活気がある ・大型ショッピングセンター ・国際交流が盛んである ・元気な高齢者が多い ・漁港が近くにある ・病院、医療機関が多い ・伝統工芸 	<p>【企業誘致・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致を考えて ・企業誘致をもう少し増やしてほしい ・企業が少ない ・「始良みやげ」がない ・地元企業のPR（雇用）不足 ・公共施設の利活用 ・巡回バスの回数が少ないので増便を（特に上場のほう） ・大きな企業を誘致してほしい ・宿泊のできる場所（入院、出産等で利用できる） ・帰郷したときに始良のみやげ（特産品）ないですね ・商工会などで研修会などしていますが、もっとPRして住民の方の意欲、動機付けを高めてほしい ・高岡公園やさえずりの森のバンガローなど研修できる施設を充実してほしい ・蒲生の伝統工芸である「蒲生和紙」を県で広めたい（広め方の対策はどんな方法があるのだろうか）

働くなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところをもっと良くするためには、もっと頑張ってもらいたいところを改善するためにはどうしたらよいか」

分野	方策
農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> ・有機野菜農業の見える化（研修農業の充実化） ・軽トラ、青空市場（有機野菜を中心に）の定期イベント開催で地元以外の吸引 ・イベント場所として道の駅を作る（新鮮野菜を農業祭のようにトラックで持ち寄る→人を集める） ・青空市、マルシェ、イベントで新鮮な野菜を提供する ・有機野菜中心の物産直売のイベント開催（店舗や物産館） ・自然農、有機農、減農薬農法など様々ある農法の違い、良さを明確に伝える ・有機野菜、おばあちゃんの惣菜（元気な高齢者が作る） ・始良市民の有機野菜に対する啓発、啓蒙活動（当たり前と思っている） ・大型ショッピングセンターで有機野菜のふるまいを行い、有機野菜の良さを多くの人に知ってもらおう（買う人を増やす） ・農業大学校との連携 ・林業について、私有地（山）を持っていることを周知し、自分の土地に関心、興味を持ってもらう ・竹林整備の講習会をしてほしい ・農業（水田）をしたい若者へ機械一式のレンタルがあったら嬉しい ・始良野菜のブランド化（大隅のぶたまそ漬け、熊本のいきなりだんご） ・食品製造加工業への助成（地元産の活用） ・有機野菜の6次化（そのための企業おこし） ・農業のグループ化（地域で担う） ・休耕地の活用を（若い人が高齢者を採用する方式を作る） ・農地の集約 ・海を活かしたインフラ整備で働きたい人も遊びたい人も呼び込む ・行政でも民間でも草払いのプロが必要 ・重富漁港のロケーションを活かしてシーフードレストラン ・重富漁港の開発 ・とろ箱市、さばき方の講習会（若い人に捌き方を教える）
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ・和紙、陶芸など伝統工芸を一箇所に集約して（観光の目玉にも） ・若手、中堅の年齢の人が創業しやすいような市の支援、助成を増やす ・小規模の企業や個人事業主への優遇

働くなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところをもっと良くするためには、もっと頑張ってもらいたいところを改善するためにはどうしたらよいか」

分野	方策
<p>就業・雇用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始良市の企業をまとめてPRしては ・ 地元企業のPR制作費用の補助 ・ 元気な老人の就労案内など施設整備 ・ 魅力ある元気な企業おこし（特に若者向け） ・ 蒲生のくすくす館は物品販売が目玉なので食堂も設けたら活気付く ・ 始良市内の企業に高齢者の働ける枠を積極的に採用する指導して ・ 高齢者の時間を有効にするため、短期（2、3時間）の労働を ・ 元気な高齢者（勤務時間を短く、人数を多くして働ける職場を作る） ・ フルタイム勤務以外の労働条件の明示（曜日別、時間帯別、年齢別など高齢者でも週2、3日の短時間労働が可能な情報の告知） ・ 短時間で多くの人材（若い子育て中の人たち）に働いてもらう（経験があれば効果大） ・ ナースバンクのような手に職がある人の〇〇バンクというものを登録制にして、即戦力とする ・ 若い子育て世代でも勤務時間を短く、人数を多くして働ける職場を作る（経験者は即戦力） ・ 商工会主催の夜市は市内外から客が来た。今後も増やして ・ 特徴のある名庵のような空き家は口コミで集るような店や会場場所とする ・ 空いている部屋、ビルの1室を外国人労働者などに安く提供する ・ 空き地空き店舗の整備や貸借 ・ 空き家が多いので補修すると転入者が増えるのでは ・ 空き家を外国人技能実習生に貸す ・ 空き家、古民家を宿泊施設に開放 ・ 職域ごとの働く環境の整備（道路、アクセス等） ・ 事業主と労働者のマッチングを行うシステムの構築（ハローワーク以外で）
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PRできる、始良なら〇〇というものを作る ・ 始良市には色んな分野で頑張った方が多い、そのためリーダー養成も必要 ・ 鹿大との連携 ・ 大学とのコラボレーション（京都では肥料の事例） ・ 県内、県外の大学生との活性化委員会を作る（新しい考え方の構築） ・ 大学の野球合宿の際、始良に宿泊できる施設を誘致又は既存の建物を活用できたら、合宿の人数の増加につながる ・ 始良市の良い所を有機的につなげる（例えばグラウンドはあっても宿泊所はない） ・ 人と自然を結びつける企業おこし（桜島を見ながらのサイクリング、そのため高齢者の雇用） ・ AI等IT企業の、学校の誘致 or 創業に力を入れてほしい

訪れるなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところ、もっと頑張ってもらいたいところ」

始良市のいいところ	始良市にもっと頑張ってもらいたいところ
<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然に恵まれている ・日本一の大クスという自然資源がある ・農業に触れやすい ・自然豊かな場所が多い ・龍門滝温泉、フォントナの丘かもう等、沢山の温泉がある ・自然が近い ・海、山、温泉が近くにある 	<p>【施設・ハード面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道の渋滞 ・親子で過ごせるレジャーセンターがない ・温泉（外国人のタトゥ入りの人は入れるか） ・マダニ等のマイナスイメージへの対策 ・施設の維持管理をしっかり ・駅等の立体駐車場が少ない ・公共施設の利活用
<p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スターランドあいら ・どこでも基本駐車場がタダ ・新しいものと古いものが良く融合している（古民家風カフェと新感覚のレストラン） ・古民家カフェ ・野鳥ウォッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ・住吉池をもっと良くして活用してほしい（ボートに乗れるとか） ・同窓会をしたいと思います、宴会と宿泊のできる施設がない（鹿児島市に行くことになる） ・公園の遊歩道が荒れて入れない ・施設の整備がされていない ・ホテル、旅館の誘致 ・娯楽施設がない
<p>【歴史・史跡】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史、史跡が多い（武家屋敷群、島津義弘公など） ・来年の大河ドラマ「西郷どん」ロケ地になっている ・歴史がある（3つの坂などの文化財） ・歴史的な建物、街並み ・史跡や指定文化財が多い ・歴史に関係ある有名な観光スポットがある ・名所が近くにある ・山田の凱旋門 ・用水路の開発者水口ゆきえの誕生の地 ・史跡が身近で豊富 ・西郷のこしかけ ・観光客が増えている（特に蒲生の大楠） ・大楠や城山の梵字 ・歴史（史跡）が豊富 ・古い坂3箇所（白銀坂、龍門司坂、掛橋坂） ・日本一の大楠 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅等で野菜などをまだアピールしてほしい ・道の駅 ・宿泊施設が少なく、市外に宿泊客が流れる ・100人以上で会議ができて宿泊ができる施設がない ・同窓会ができない ・森のある公園があるといい ・県体育館の誘致をすれば始良も活性化する ・駅からの交通の便が悪い ・大きな温泉施設、公共の遊楽施設がない ・あいらびゅー一号が使いづらくなっている（金額面、コース）

訪れるなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところ、もっと頑張ってもらいたいところ」

始良市のいいところ	始良市にもっと頑張ってもらいたいところ
<p>【アクセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港→始良、駅→始良（サイクリングコースに便利） ・交通アクセスが良好 ・交通の利便性 <ul style="list-style-type: none"> ①インターチェンジがある ②空港が近い ・空港に近い ・交通のアクセスが良い 	<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湾岸開発、山地開発 ・史跡の整備を ・緑が多いがハイキングできないところが多い
<p>【伝統工芸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸（蒲生の和紙、龍門司焼き、帖佐人形など） ・龍門司焼 ・歴史的文化財、郷土芸能（太鼓踊り、くも合戦など） 	<p>【PR力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宣伝が下手 ・大楠の知名度を上げたい（全国的に） ・横連携が図られていない ・高速ICの看板を美しく（始良の顔） ・PR不足は感じます。総合的に横のつながりのないPRをしている ・日本一アピールの統一性がない（大楠、大クス） ・宣伝が下手
<p>【国際交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流が盛んである ・困っている人を助けてくれる（外国人も） ・外国人居住者が増えている ・地域も受け入れる（言葉のサポートは必要） ・小さな手作りイベントが沢山ある 	<p>【名物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始良みやげがない

訪れるなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところをもっと良くするためには、もっと頑張ってもらいたいところを改善するためにはどうしたらよいか」

分野	方策
施設（ハード）の整備、活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 娯楽施設を作る ・ 幅広い年代層が楽しめる施設 ・ 県央の地の利を活かして施設のレンタル使用（昼食など）。相乗効果として商業店舗の収益の向上 ・ 観光案内板に広告を入れて設置、維持費用を下げる ・ 看板は統一する ・ 民泊の検討（空き家の活用） ・ 全天候型の施設 ・ 商業施設と運動施設の連携（家族はイオン、父親は運動場） ・ 滞在型施設を作る ・ ホテル、旅館、娯楽施設 ・ 訪れてよかったと思える施設環境を整備 ・ 体験型施設がほしい（子どもと一緒に遊べる） ・ 観光客を増やすことで宿泊のニーズがあがり、宿泊施設の誘致につながる ・ 草払いのプロを（せっかくの施設が寂れている）
アクセス環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICカードの共通化 ・ 加治木港を活用して水路交通（フェリー） ・ バスのICカード化 ・ レンタカー、レンタサイクル ・ あいらびゅー号に自由散策型や観光拠点間交通の役割を追加する ・ あいらびゅー号で歴史、史跡めぐりを
特産品の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな特産品を作る ・ 企業、役所、地域と一緒に話しをする場を作る（今は地域が入っていない） ・ 既存の特産品の活用（組み合わせての提案） ・ 商工会と農協の連携
新たな観光資源の開発、発掘、観光コースの提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空港からのサイクリングコースの設定 ・ 農業体験を進めるためにグリーンツーリズムを ・ 市全体のツアーではなく、地域毎にツアーを提案する（まちづくりにつながる） ・ 始良市の一日体験コース、1泊2日コースなど始良の楽しみ方を提案する（史跡名勝コース、文化体験コース、海山コース） ・ 具体的なツアーの提案 ・ 各町ごとに小中学校で観光ガイド（子ども）を育成する（英語、他国語にも挑戦し、地域への関心も育む） ・ 歴史、史跡を馬で回れるようにする（白銀坂、龍門司坂、掛橋坂など） ・ 「重富海岸」とか「さえずりの森」を馬で回れるようにする ・ 馬の郷始良に（馬蹄り、義弘公の馬の墓があるのにも加え、気軽に馬に触れられるシステムを作る）

訪れるなら “あいら”分科会

テーマ「始良市のいいところをもっと良くするためには、もっと頑張ってもらいたいところを改善するためにはどうしたらよいか」

分野	方策
既存の観光資源の再発掘、観光コースの提案	<ul style="list-style-type: none"> ・他にないものとして歴史国道を活用 ・蒲生の大楠は保護ではなく、触れるようにする（命あるもの尽きる日は来る。ならばお別れを楽しめるようにする） ・公園やスポーツ施設が多いので合宿の誘致を積極的に ・史跡散策、食事めぐり、カメラスポットめぐりなど多様なウォーキングモデルコースの作成（その路上表示には広告を入れて経費を下げる） ・山、川、滝、池などを活用する（例えば奥入瀬のような川と滝を利用したコースを作り観光地化する） ・地域自らがツアーを作る（地域には地域に誇りを持った人が居る） ・家庭教育学級の活用（食育と観光） ・昔ながらの「盆踊り」のようなイベント（全員参加型で子供から高齢者まで楽しく参加できるようなもので、地元商店街も出店） ・一緒にみんなで踊る体験
PR力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・市報の注目度をあげ、見てもらう ・若い人は「インスタ映え」することが重要 ・イベント等の実施主体にPRの仕方を伝え、全体のPRの向上を図る ・SNSに長けている学生を活用し、デジタル発信 ・季節ごとの良さをPR ・鹿児島市電やJRの車両にラッピングしてPR ・「始良」という名前の認知度を上げる ・ターゲットを絞ってPR（まずは近県） ・加治木地区住民への始良蒲生地区の無料観光イベント、始良地区住民への加治木蒲生地区の無料観光イベント、蒲生地区住民への加治木始良地区の無料観光イベントをする（まずは始良市民が始良市を理解する。3町の壁を越えるシステム） ・観光、親善大使にツアーを体験してもらいPR ・PRに有名人、著名人を起用することにより注目度もあがる ・SNSの活用 ・始良市役所のHPに各分野で活動されている方々のHPやSNSをリンクさせ情報を探しやすくする（情報の集約が必要） ・始良市民が始良に関心を持つこと→話題になる、宣伝につながる
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・市の国際交流協会を作る ・通訳の公募（市が通訳を指定） ・外国の方にイベントに参加するだけでなく、出展してもらう ・日本文化を体験できるイベント ・着物、浴衣の体験（盆踊り） ・国際交流のイベント（文化、食） ・学生のサポーターを養成 ・外国人を雇用している企業にも協力を求める

始良市まちづくり50人委員会要綱

(設置)

第1条 市政に対する意見等、市民の声を総合計画の策定に反映させることを目的に始良市まちづくり50人委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(組織)

第2条 委員会は、委員50人程度をもって組織する。

2 委員は、公募に応じた市民及び市長が特に必要と認めた者の中から、市長が委嘱する。

(任期等)

第3条 委員の任期は、1年とする。ただし、市長が必要と認める場合は、この限りでない。

2 委員は、無報酬とし、報償、手当その他これに類するものは支給しない。

(会議)

第4条 会議は、全体会及び分科会とし、市長が招集する。

2 全体会は、分科会での意見等の集約を行う。

3 分科会は、委員会の設置目的に沿ったテーマごとに協議を行うこととし、分科会の名称及び主な検討分野は、市長が定める。

(委員以外の出席)

第5条 全体会及び分科会には、必要に応じて、委員以外の者を出席させ、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、企画政策課において処理する。

(守秘義務)

第7条 委員は、委員会において知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この告示は、平成23年3月1日から施行する。